

冷やし中華はマヨネーズが合うのだ号

ブル通信

2107

編集発行人 ブル
ブル通信は発行人が
ブルドッグの様な
顔をしているので
ブル通信としました。

ブル通信は
過去に...

ガッツのお車の
ご購入
ご売却
車検
修理
査定
見積もり

の
どれかをご利用頂いた
お客様に
お送りしています。

これが日本の正しい

「たなばた」なのであった

♪ 夏も近づく八十八夜、あいやう（あいやうは合いの
手で歌詞ではないよ）というところでコロナ禍の日本にも
もうすぐ「たなばた」がやってくるのであったが、ずいぶ
ん長いこと生きてきたような気がしているが、ふと思うと
「たなばた」と言うとなんか笹を飾って毎度のアホずら
下げてひたすらスイカの汁で服をベトベトにしながらこ
ろ夕刻にしている記憶しかない。しかしながら日本の伝統行
事である「たなばた」を正しく知らないまま、生涯を終え
ていいのか？という思いから（ま、もう少し生きるつもり
ではあるが）正しい「たなばた」を調べてみようという
企画であった。

ちよっと調べてみると7月7日は「たなばた」だあ！
だと騒いでいるが（ん！誰も騒いではいないか）これは
旧暦であって現代の暦に直すと今年は8月14日らしい。ほ
お、お盆の真つ最中じゃないか。盆と「たなばた」が一緒
に来るとはこいつあ、めでてーや。なんか「たなばた」の
起源を調べてみたら色々あるみたいで、こりゃ書くのは面
倒なんだから源は飛ばしだね。
たなばたには星を見るとか書いてあるね。まあたまには
星見るのもいいかも！

なんか「たなばた」には行事食つてのがあるらしい。端
午の節句とかはかしわ餅とか、ちまきとか食べるじゃない。
い。ああいうのが行事食らしいわ。スイカじゃないんか？
と思ったらすすがにスイカじゃないみたいでソーメンら
しい。なんか病除けの意味があるらしいよ。よし、今年の
たなばたはコロナ除けでソーメン食いましよう。みんなで
ソーメンだ。食って食って食いまくるのだ。

さらに驚くべき情報を調べ上げたのだ。短冊ってあるで
しょあの願い事を書いて吊るす紙、このたなばたを調べて
いてある恐るべき事に気がついたのであった。実はわたく
し、子供の頃から超音痴でさらに楽器も全くできず、音楽
は1または2しか貰ったことがない。音楽会の合唱練習で
このあたりで変な音がすると言われ調べたら俺だった。最
初小さい声で歌えと先生に言われ、次はいいから口だけパ
クパクしていると言われたことがある。今ならパワハラだ
が昔はそんなもんだった。音楽が全くダメだった理由が実
は「たなばた」にあったのである。以下、短冊の色に関す
る考察である。

青 自身の成長や人間力を高める願い事

赤 父母や祖先に対する気持ちを表す

黄色 人間関係に関する願い事

黒 義務や約束事を守りたいとき

このように願い事により短冊の色が決まっているのである。

私が育った家庭ではきちんと七夕飾りをしたのとはたぶん1回か2回しかないが、願い事を書くとするば歌がうまくなりそうですよ！この願い事か思いつかない恐れは1回か2回の七夕飾りにおいて短冊には願い事を書いたはずであるが、色が違っていたのである。我が家ではたしか広告の裏を切って使っていたはずである。

落花生を食するときのゴミ箱が広告で折って作ったゴミ箱なら、男の節句の兜も広告で折った兜を正式採用していた。それくらい我が家にとって折込広告の紙は生活必需品であったのだ。

おそらく広告の裏に当時の俺は「歌がうまくなりそうですよ」などと健気にも書いていた健気な少年だったはずである。

しかしながら七夕の神様が広告の裏で願い事をするなど不埒千万と怒り、結果義務教育期間中、全て音楽は1または2という悲惨な結末を迎えることになったのである。

このような事実が判明した今、読者諸兄に置かれましては短冊を広告の裏で済ませるというような節約はゆめゆめ考えない事をお願いして日本の正しい七夕の過ごし方のレポートとさせて頂く次第である。

旧車にご興味あるお客様

最近、新しい車に面白い個性的な車がないこともあってふるゝい車、いわゆる旧車を探してほしいというお客様、かなり増えていきます。特にワロカン系などは最近は丸っこいデザインが多いため、昔のような角ばったデザインの車が欲しいというお客様が増えていきます。僕自身もそういった車、好きなのでお気持ちちは非常に理解できますが、お客様にもよりますが車は機械モノなので旧車を買われる場合は、それなりの覚悟が必要となるとおもいます。

納車整備などももちろんきちんとして納車させて頂き

ますが、整備と一口に言っても整備には一般整備と予防整備というのがあります。

一般整備は例えば車検などの場合は56項目ありその56項目を点検し整備しますが特にお客様から指示がない限りそれ以外の部分には一般的には手をつけません。これはほとんどのお客様は安い車検を望まれるからです。

例えばブレーキパッドなどは交換したほうがいい状態の摩耗である場合、お尋ねして交換をおススメしますが「車検が通ればいいよ。」とおっしゃられる方もいらっしゃいます。このまだ車検は通るけど交換をした方がいいケースが予防整備という部類に入ります。

旧車の場合は、消耗系を中心にかなり念入りにはやりませんが全てを分解して整備を行うことは不可能なので今日、調子よかったものが明日急に悪くなることは往々にして全くないわけではありません。同様の事は新しい車でも言えますがその可能性はかなり低くなりますが、旧車の場合その可能性は高くなつてきます。

旧車にご興味あるお客様はほぼすべての方が「旧車なんだからある程度、壊れるのは当たり前だと思っているよ。」とおっしゃって頂けますが普段新しいお車に乗っていると車は壊れなくて使えるのが普通という感覚になり旧車であっても実際に不具合が出てくると、なかなか納得いただけないケースもごございます。

しかしながら旧車の全てを予防整備をおこなったとしても金額となりそれは現実的ではありません。旧車の場合、基本的な整備をきちんとしたうえで不具合が出てきたらその都度、故障箇所を直しながら長く使うというのが旧車の乗り方であり、また愛着も沸いてきます。全国的な旧車人気もあり価格も高騰しております。

あこがれだけで安易に手を出すことはおススメいたしません。もし旧車をお考えのお客様は十分に時間をかけて検討された上で判断されること強くおススメいたします。